

～新しい和田支所・市民センターの整備に向け第13回和田地域モデル事業協議会開催～

令和3年3月19日（金）に、“和田地域モデル事業協議会”を和田市民センターで開催しました。

（出席：和田の里づくり推進協議会「プロジェクトW」（伊藤代表ほか15名）、市（職員6名））

～協議会の内容～

第13回和田地域モデル事業協議会では、和田支所・市民センターの整備候補地の一つとしていた和田小・中学校が、家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されたことや、第10回の協議会で出席者から「現在の和田地域における一番の課題は安全・安心な避難所・防災拠点がないことである。」との発言があったことなどを踏まえて、市から改めて提案した4か所の候補地の中から、**和田地域の住民の安全・安心を最優先に、“国道376号沿線に整備したい”**との説明を再度行いました。

その後、出席者の皆様から、市の提案も踏まえ整備候補地についてご意見をいただきました。

市が改めて提案した整備候補地	区域指定	所有
①〔和田〕現市民センター	土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)	市有地
②〔和田〕和田自治会エリア南側	洪水浸水想定区域 (0.5m～3.0m)	民有地
③〔米光〕国道376号沿線	洪水浸水想定区域 (0.5m～3.0m)	民有地
④〔米光〕米光住宅地内	洪水浸水想定区域 (0.5m～3.0m)	民有地



■市からの説明

- 近年頻発する災害の状況等を踏まえ、第10回の協議で発言のあった「和田地域の一番の課題は安全・安心な避難所・防災拠点がないことである。」との発言を大変重く受け止めている。
- 住民の皆様の安全・安心を最優先に考え、災害リスクが小さい（土砂災害警戒区域にない）、〔米光〕国道376号沿線を整備候補地として（前回の協議会で）提案させていただいた。
- これまでの協議の中で、皆様の現市民センターの場所に対する強い思いは十分理解しているが、今後想定される災害に対応していくためには、〔米光〕国道376号沿線が最適だと考えている。
- 市長も、（和田地域の）モデル事業がスタートして既に3年半が経過している、これ以上住民の皆様をお待たせしてはならないと考えている。
- 住民の皆様が心配されている用地交渉については、事業認定の手続きと並行して行い、約1年と見込まれる事業認定手続きに係わらず、迅速に進めていく。
- 〔米光〕国道376号沿線を整備候補地とし、努力する機会を、市に是非与えていただきたい。

## ■出席者から出された意見

11 名の方からご意見をいただきました。

すべての方が「住民の安全・安心は大切であり、大事である。」という認識は十分持たれた上で、これまでの経緯やコミュニティ、そして小学校との連携やイベントの開催しやすさなどから、現市民センターやその周辺での建て替えを望む意見が多数でした。

また、和田地域もこれから更なる高齢化が進むと考えられるので、子どもから高齢者まで避難できる安全・安心な支所・市民センターがあった方がいいとの声もありました。

大事なのは 10 年後、20 年後、50 年後であり、その時にここにあってよかったという場所にしてほしいとの意見もいただきました。

### 〈〔和田〕現市民センターとする理由〉

- 安全・安心は大切であり理解できるが、小学校との連携も取れるし、運動場もある（イベントが可能）。放課後子供教室もある。高齢者の百歳体操もある。コミュニティ（地域）のバランスもとれる。同じ場所での建替えであれば人も集まりやすい。
- 和田地区の先々の存続も大事なので、和田地区がいい。
- 早く建て替えることもできる。

### 〈〔和田〕和田自治会エリア南側を含めた和田エリア（現市民センターは除く）とする理由〉

- 何年に一回の災害に備えることも大事。和田地区の変わらない日常、かけがえのない日常も大事。両方ともうまくいくのはこのエリア。
- 現市民センターが危険なのは仕方ないが、安全・安心と〔米光〕国道 376 号沿線はイコールではない。将来のことを考えると和田地区で安全・安心なところを探せたらいい。
- 地域の活性化、イベントのことなどを考えると、現市民センターか、その近くがいい。

### 〈その他〉

- 和田地域もさらに高齢化が進む。5 年、6 年すると、どうやって避難するのか、車で動けない人も出てくる。子どもから高齢者まで集えるような市民センター、何かあった時に早急に避難できる、安全・安心な市民センターにしてほしい。さらに逃げないで済む（二次避難の必要のない）、遠くの人も、あそこに避難しようと思えるようなものもいい。現市民センターは難しい。
- 大事なのは 50 年後。50 年経ってここで良かったという場所にしてほしい。
- 安全・安心を言われると何も言えないが、国道 376 号沿線になった時に、どのような支所・市民センターを作るのか、どのような機能を入れるのか、具体的な話がないと。

## ■今回の検討協議を踏まえての今後

市は第 10 回協議会での出席者の「現在の和田地域における一番の課題は安全・安心な避難所・防災拠点がないことである。」との発言や、近年の頻発する災害状況等を踏まえた上で、〔米光〕国道 376 号沿線に整備することが最も望ましいとの考えです。

一方、協議会出席者からは、住民の安全・安心が大切であることは理解しているが、小学校との連携や、イベントのしやすさなどから〔和田〕現市民センターや〔和田〕和田自治会エリア南側などの意見が多くありました。

こうしたことから、市がこれらの出された意見をいったん持ち帰り整理したうえで、改めて協議することになりました。